

接触領域の 芸術

～美術・音楽・芸能～

文化の境界にうみだされる、「ちょっと
不思議な芸術」たちを発掘する。

民族藝術学会創立30周年記念大会
公開シンポジウム I

2014年

9/21

(日) 13:00～16:00 国立民族学博物館・講堂

無料
申込不要

13:00-14:45 問題提起とパネリストからの報告

報告1 (美術から): アジア美術におけるゴーギャン的なるもの

後小路雅弘 (うしろしょうじ・まさひろ) 専門は美術史。九州大学人文科学研究科教授。「失われた無垢なわたし」という他者—東南アジア美術におけるゴーギャンニズム」(『美術フォーラム21』21号)ほか。東南アジアにおける「美術」形成について考えています。

報告2 (音楽から): バルカン演歌を渉猟する

伊東信宏 (いとう・のぶひろ) 専門は音楽学。大阪大学文学研究科教授。『中東欧音楽の回路』(岩波書店)ほか。「東欧演歌研究会」というものを立ち上げ、バルカンの大衆音楽と民俗音楽の関係について考えています。

報告3 (芸能から): 歌舞伎と「西洋」との接触 — 『ひょうりゅうきだんせいようか漂流奇譚西洋劇』の大失敗

矢内賢二 (やない・けんじ) 専門は日本芸能史。立正大学文学部准教授。『明治キワモノ歌舞伎 空飛ぶ五代目菊五郎』(白水社)ほか。あらゆる文化を貪欲に呑み込んで使いこなそうとする芸能のありように関心があります。

15:00-16:00 ディスカッション 文化の境界上の「ちょっと不思議な芸術」たちについて、フロアからも積極的な話題と議論をお待ちします。

司会・コーディネイト 岡田裕成 (美術史・大阪大学准教授)

民族藝術学会 民族藝術学会は、ことしで創立30周年を迎えます。

本部事務所:

豊中市待兼山町1-5 大阪大学文学研究科芸術学・芸術史講座内
e-mail: mg_gakkai@yahoo.co.jp Fax: 06-6850-5121

ご入会の申込みはインターネットからが便利です。

<http://ethno-arts.sakura.ne.jp>

民族藝術学会は、査読付き学会誌『民族藝術』を発行しています。ジャンルや地域の枠を超え、芸術に関する幅広い研究を取り上げます。特定のテーマを掘り下げたカラーグラビアと「特集」、投稿論文を掲載する「民族藝術学の諸相」、最新の展覧会やパフォーマンスの批評を集めた「民族藝術学の現場」などで構成されます。

